平成２６年３月３日

保護者のみなさまへ

大阪狭山市立北小学校
校　長　車谷　哲明

学校アンケートの集計結果について（お知らせ）

１月８日～１２日に実施いたしました学校アンケート調査では、３１６家庭（全体の９４％）の皆様に回答をいただき、誠にありがとうございました。本年度の学校アンケート調査の集計結果をお知らせするとともに、過去３年間を比較したまとめについて報告いたします。学校では現在、今年度の様々な教育活動の振り返りを行い、保護者の皆様からいただいたアンケート結果を参考にしながら次年度の計画の元を作っています。また、１月１７日に実施いたしました学校協議会でも、調査結果等をもとに協議会委員の方から多くのご意見を頂いております。

【保護者のアンケート調査結果より】

過去３年間（Ｈ２３～２５）の調査結果より、「教育活動に関するもの・学校経営に関するもの」の各項目の中で、肯定的評価（よくあてはまる・ややあてはまる）が**９０％程度以上を維持**できている項目は、（新は新たに評価が加わったもの）

・学校は教育方針をわかりやすく伝えている。（新）
・学校は、学習内容や学級のようすなどを家庭に知らせている。
・子どもは、学校へ喜んで行っている。
・学校は、子どもの体力づくりに取り組んでいる。
・学校は、保護者が授業を参観する機会を適切にもうけている。
・学校が、保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。

の６項目でした。（昨年も６項目）中でも、**「子どもは、学校へ喜んで行っている。」**項目が９３％前後を保っていることは、非常にうれしいことです。他方、肯定的評価が少ない項目としては

・通知表は、子どもの学習や到達度の様子などが分かりやすく工夫されている。（71％）
・学校は、いじめのない学級づくりに取り組んでいる。（77％）

の２項目でした。特に**「学校はいじめのない学級、・・・」**の項目は、昨年と同様７０％台で、

大きな課題と受け止めています。今年は、児童会が中心となった取り組みを進めたり、観劇に「いじめ」をテーマとして取り組みを始めたところですが、日々の迅速できめ細やか対応や組織的対応が的確に行える必要があると認識しています。現在、校内で「学校いじめ防止基本指針」の作成を行いチームとして取り組める体制づくりをあらためて進めています。

また、「家庭でのようす」の４項目については、肯定的評価の多いものと少ないものに２分されています。これも、昨年と同様です。少ないものとして

・家庭での学習習慣が身についている。（75％）

・保護者として学校やPTAの行事によく参加している。（72％）

多いものとしては、

・学校のようすについて話を聞くようにしている。（95％）

・学校から配られるプリントなどは必ず見ている。（97％）

となっており、保護者の方は、学校の取り組みや様子をご家庭でしっかりと把握していただいていることが伺えます。しかし、70％台の2項目については引き続き学校・ご家庭双方での協力のもと改善を図っていくべき事柄であると考えます。

上記以外にも、防災対策、体力づくり、土曜授業の実施、教員の指導についての具体的なご意見も頂きました。学校だけでは判断出来ない内容もありますので、関係機関にも情報提供したいと思います。

【児童のアンケート調査結果より】

過去３年間の調査結果より、生活については、肯定的評価が連続して高い（９０％以上）項目は、低学年では１１項目中７項目（昨年と変わらず)、高学年では１０項目中６項目と減少しました。

・家で歯みがきをしている。 低学年(96％)高学年(99％)

・朝ごはんを食べる。 低学年(95％－４％)高学年(96％現状)

・あいさつをする。 低学年(95％)高学年(94％)

・友だちと仲良くできる。 低学年(97％)高学年(95％)

・家でお手伝いや、学校で掃除ができる。低学年(94％)高学年(90％)

の５項目が低・高学年で共通して９０％を超えた項目です。昨年に比べ、あいさつをするとお手伝い・掃除ができるの項目が昨年同様の推移をしていることは嬉しいことです。その他の項目を低・高学年で比較したとき、今年は、高学年の数字が多くの項目でわずかですがダウンしています。（１～２％）しかし、**「本をよく読む」**項目は、低で１０％増、高学年で３％増と嬉しい結果が出ています。今年から専任の司書が図書室に常駐したり、新たな取り組み

の結果が出始めたと考えていいと思います。また学習についての項目では、肯定的評価が比較的高いのは低学年では

・学校へ行くのが楽しい。（95％）　**・勉強がわかりやすい**（92％）

高学年では

・地震や火事、そして不審な人に会った時など危険なことが起こった時、どうしたらよいか教えてもらっている。(95％)

の１項目でした。一方、肯定的評価が低い(もしくは下がった)項目は

低学年では

・楽しい行事が多い。(88％↓５％)

高学年では

・学校にいくのが楽しい（82％↓2％）**・授業がわかりやすい**（85％↓2％）

・命の大切さ・他人への思いやりを学ぶことが多い。(85％↓2％)

の３項目でした。特に、高学年でポイントが下がった３項目については授業や指導計画の見直しを行う参考にしていきたいと考えています。また、低学年の楽しい行事が多いの項目の低下が大きく、その原因を丁寧に探っていこうと考えています。

全般的に見て、保護者からの評価は教育活動や学校経営に関するものについては、昨年と数値的には変化がなく、概ね満足のいく結果と捉えています。しかし、若手教員が増える中で、学習指導や生徒指導の「きめ細やかさ」や子ども理解に対する「深さ」等には課題があると思っています。指導力の育成が急務と考えております。また、子どもが相談しやすい雰囲気づくりをすべての教員が工夫しているか、肯定的なとらえをしながら指導を進めているかを検証していく必要があると考えています。いじめ問題の対策を組織的に子どもの立場に立ってとりくめるようさらなる努力を重ねていきたいと考えています。今年度のアンケート結果を教職員が十分に参考にし、振り返りを行いたいと思います。

引き続き、本校教育の推進にご協力・ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。